

2025 年 12 月 8 日
東日本旅客鉄道株式会社

第 14 回世界鉄道研究会議(WCRR 2025)で優秀論文賞を受賞しました

- 「第 14 回世界鉄道研究会議(WCRR 2025)」※1 がアメリカ・コロラドスプリングスで開催され、弊社から発表した論文「Development of Derailment Detection Function for High-Speed Trains by Monitoring Acceleration of Bogie Frame (高速鉄道車両のための台車枠加速度による脱線検知機能の開発)」が「Safety and Security 部門」で「優秀論文賞」を受賞いたしました。
- WCRR(World Congress on Railway Research)は、1994 年 11 月のフランス・パリでの開催以降、鉄道に関する研究の価値向上、技術情報の共有、国際協力の推進を目的として数年ごとに開催されており、鉄道に関する会議としては世界最大級の国際会議です。
- 今回は世界 25 か国以上から 384 名が参加し(うち日本からは 62 名)、244 件の研究発表が行われました。この中から優秀論文賞が 7 件選出され、このうちの 1 件が本件名となりました。

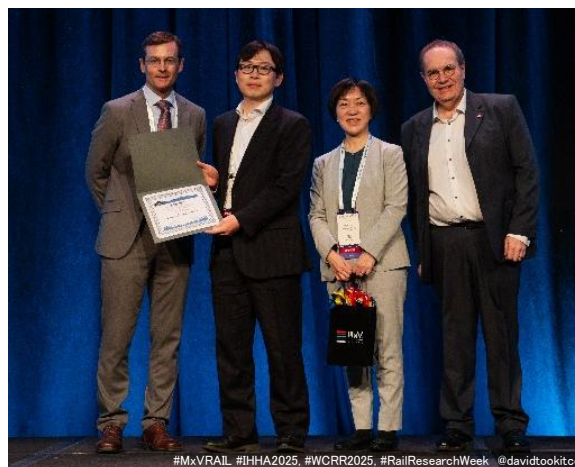
○受賞内容について

- ・受賞名: Best Paper Award for Category of Safety and Security
(「Safety and Security」部門 優秀論文賞)
- ・受賞日: 2025 年 11 月 21 日※2
- ・件 名: Development of Derailment Detection Function for High-Speed Trains by Monitoring Acceleration of Bogie Frame
(高速鉄道車両のための台車枠加速度による脱線検知機能の開発)
- ・受賞者: 東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター
リスク評価・安全技術ユニット 篠原 嵩征 研究員
(共著者: 松橋 克幸、畑 弘敏、石田 陽士、内田 好徳、三須 弥生)

※1 開催概要の詳細は以下の URL をご覧ください。

<https://railresearchweek.com/>

※2 現地時間では 11 月 20 日です。



授賞式(左より WCRR 技術委員長、篠原研究員、三須上席研究員、WCRR 委員)